

Jiji Shinposha (News Paper Co) Building, Tokyo.



General View of the Jiji Shinposha Building, Tokyo.

時事新報社新築全景

宮城のお堀端の前に新築されたる時事新報社は工學博士櫻井小太郎氏の設計で最近の新聞社建築としては蓋し理想的であると思ひます

外觀よりも實質との見地より出來得る限り虚飾を避けられ、堅牢、實用、便利、特に地下室及換氣装置には多大の御注意を拂はれ、博士獨特の設計になつたものであります。

(27 頁よりつゞく)

又底部は屢に水替に前施したる水中混凝土の上に、相當鐵筋を配列して混凝土を施すときは、aa 以下は茲に溝形を完成すべし。aa 以上の天井は此内部に型枠を組立て、普通の如く施工するときは、遂に A 及び B なる井筒は連續せる一の暗渠となるべし。縦壁及び横壁の天井以上に突出する假堰用の部分は、適宜破碎取除くものさす。

以上は二個の井筒を用ひて、連續せる暗渠の工法を述べたるものなるも、之を追次他の

井筒に繰返し 21 個の連續せる暗渠延長 212 米餘を完成せり。

以上述ぶる所の工法は、施工日數稍々多きを要するも、井筒を順次沈下するものなれば河水の疏通に大なる障害を與へず、假水路の堀鑿及び多額の水替費を省き得たるのみならず、施工中本川數回の出水に會し、殆んご被害無く、實施の結果に見るも、斯くの如き河底深く砂礫層にして、湧水量極めて多大なる河底暗渠工事としては、蓋し當を得たる工法なりしこそを信するものなり。(終)



時事新報社新築正面玄関

The Main Entrance of the Jiji Shinposha Building.

時事新報社新築工事概要

工學博士建築士 櫻井小太郎

位置 東京市麴町區八重洲町

敷地 八百〇貳坪四合

本館

建坪 六百五拾貳坪參合、各階建坪、千九百貳拾壹坪參合、建物の最高部は地盤面上九拾八尺にして、最高軒高は地盤面上七拾壹尺五寸

建築様式 近世式鐵筋コンクリート建

構造

基礎 建築物全部に涉り、地盤面下約拾尺五寸の處に鐵筋コンクリート基礎盤を築造し、柱下は地盤面以下七拾尺の砂利層迄ベデスタル式鐵筋コンクリートパイルを打込み、高速度輪轉機(別館)の基礎も本館同様のベデスタル式パイルを打込みたる上に厚さ拾尺のコンクリート盤を築造す。

各階配置

地階 紙置場 社員及職工の浴室(男子用)二室(女子用)二室 配電室 汚水處理槽

一階 營業部室 紙型工場 印刷工場

二階 植字及文選工場 編輯室

三階 重役室 會議室 社員及職員食堂 寫真室 電話交換室

四階 貸事務室

五階 大講堂

屋上 傳書鳩舎及無線電信室

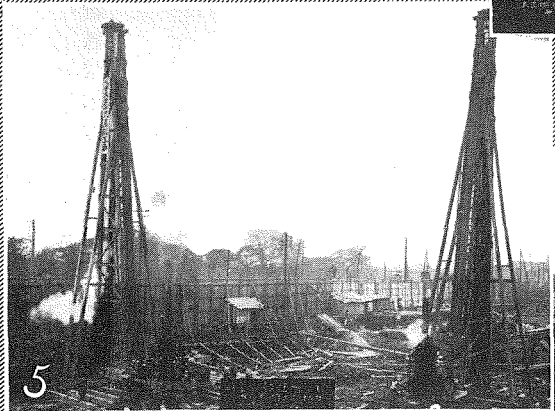
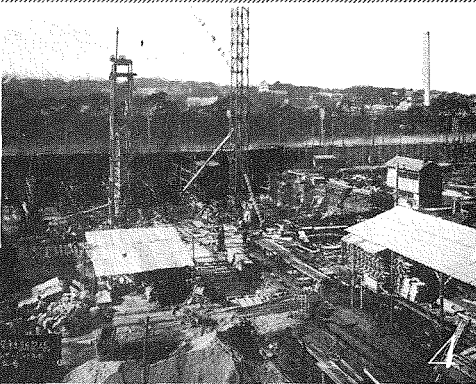
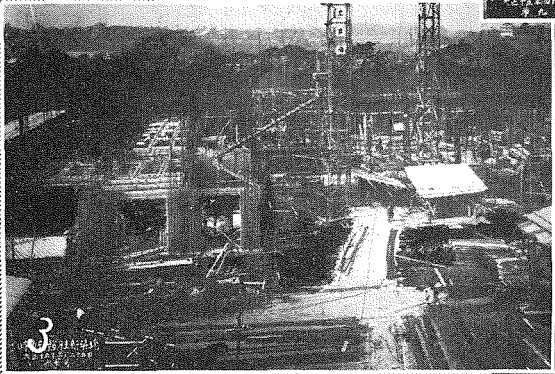
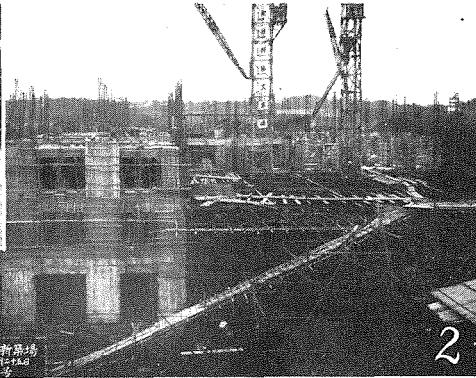
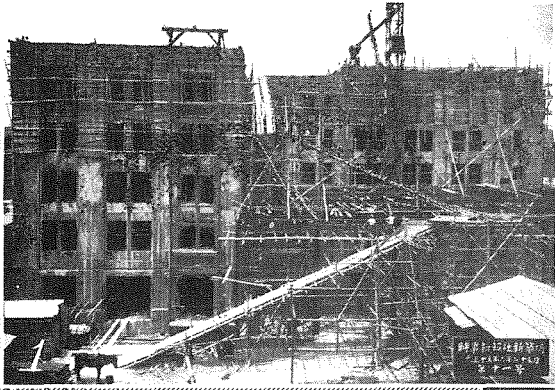
塔屋

附屬別館 別館は印刷工場として、鐵骨鐵筋コンクリート造平家建(一部地階付)と現在發行高を標準として他に最新式高速度輪轉機二臺を据付け得る豫備工場あり

時事新報社新築工事の過程

Jiji Shinposha under Construction. Work began August 1925 and the Following
 Pictures shows its Development.

- (1) 大正十五年六月六階鐵筋コンクリート工事
- (2) 同 四月四階鐵筋コンクリート工事
- (3) 同 二月二階鐵筋コンクリート工事
- (4) 同十四年十二月基礎コンクリート工事
- (5) 同 十月ベテスタル式基礎工事
- (6) 同 八月敷地根掘



(1) Sixth Flow under Construction. (2) Fourth Floor Concreting. (3) Concrete Placing for the Second Floor. (4) Concreting the Foundation. (5) Pedestal Pile Drivig (6) Foundation Excavation, August 1925